

⑱日本国特許庁  
公開特許公報

①特許出願公開  
昭53—69341

⑤Int. Cl.<sup>2</sup> 識別記号  
B 62 L 3/02 //  
F 16 C 1/10

⑥日本分類 庁内整理番号  
81 E 02 6475—36  
53 A 111 6461—31

③公開 昭和53年(1978)6月20日  
発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ブレーキワイヤ連結器

福島県伊達郡飯野町大字飯野字  
志保井31

⑯特 願 昭51—143073

⑰出 願 人 黒沢チエ

⑱出 願 昭51(1976)11月29日

福島県伊達郡飯野町大字飯野字  
志保井31

⑲発 明 者 黒沢文男

明 細 書

1. 発明の名称

ブレーキワイヤ連結器

2. 特許請求の範囲

ワイヤ連結部1と案内筒2からできており、  
左・右のブレーキレバーの片方を引くだけで、  
前輪、後輪に同時にブレーキがかかる動作をさ  
せる自転車用ブレーキワイヤ連結器。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、自転車の左・右のブレーキレバ  
ーの片方を引くだけで前輪、後輪のブレーキが  
同時にかかるようにするためのブレーキワイヤ  
連結器に関するものである。

従来、ブレーキワイヤを使用した自転車で、  
片方のブレーキレバーを引くだけで前輪、後輪  
に同時に作用する自転車がなかった。そのため、  
急ブレーキをかけると運体が揺れたり、転倒し  
たり、荷物を持って運転している時、効き手に

よっては、転倒しやすく、運転が不自由なこと  
もあった。

この発明は、一方のブレーキレバーを引くだ  
けで前輪、後輪の両方のブレーキが同時に作用  
させ、安全で使いやすいブレーキにするため  
のブレーキワイヤ連結器の提供を目的とするも  
のである。

第1図のように、左ブレーキレバー3、右ブ  
レーキレバー4につながる左ブレーキワイヤ5、  
右ブレーキワイヤ6と連結部1で連結し、また、  
前輪ブレーキ7と後輪ブレーキ8に連なる前ブ  
レーキワイヤ9と後ブレーキワイヤ10を連結部  
1で連結する。

その連結部1を案内筒2にセットし、上下に  
動作するように構成されたものである。

今、ブレーキワイヤの片方を引くと、第2図  
のように、連結部が上昇し、前ブレーキ7、後  
ブレーキ8が同時にかかる。

この発明によれば、片方のブレーキレバーを  
引くだけで、両輪のブレーキが同時に効くよう

面

になるので、急ブレーキによるバランスのくずれや転倒の防止に役立つ、制動距離も短くなる。また、効き手に関係なく操作が簡単であり、交通安全に役立つものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、ブレーキレバーを引いてない状態、第2図は、片方だけブレーキレバーを引いた状態を示す断面図である。

1：連結部 2：案内筒 3：右ブレーキレバー 4：左ブレーキレバー 5：右ブレーキワイヤ 6：左ブレーキワイヤ 7：前輪ブレーキ 8：後輪ブレーキ 9：前ブレーキワイヤ 10：後ブレーキワイヤ

特許出願人 黒 沢 テ ニ

